

令和5年度 江戸川区立篠崎第二中学校 学校関係者評価 最終報告書

<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 探求心をもち学ぶ生徒 ○ 礼儀正しく豊かな心をもつ生徒 ○ 健やかな体をもつ生徒 	<p>目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像</p>	<p>「互いに認め合い、居場所のある学校」「保護者や地域から信頼される学校」 ①自分から進んで学び、対話を通して深く考え、行動することができる生徒 ②自他の命を大切にし、仲間を思いやり、人と上手に接することができる生徒 ③「篠二中」や地域を愛し、広い視野をもち、仲間や社会の役に立つことができる生徒 ①生徒の気持ちや考えを理解し、対話を大切にしながら、生徒と接することができる教職員 ②生徒が自己実現のための意欲と行動力を身に付けるため、生徒の学びを支援できる教職員 ③保護者の願いや社会の期待を自覚し、未来を生きる生徒を育成することができる教職員 ④未来を生きる生徒とともに自己啓発と自己変革に意欲的に取り組むことができる教職員</p>
<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>		<p><成果> ○ 感染症対策を講じながら、計画したすべての教育活動を実施できた。 <課題> ○ PTAや地域と連携し、「開かれた篠崎二中」を構築する。</p>

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実	①一人一台端末の活用促進 ②放課後補充教室の参加者の増加 ③電子ドリルの利活用の促進	①各教科の使用率:100% 生徒の利活用:単元に1回 ②参加者総数:150名 ③5教科での利用:100% 生徒の学期ごとの利用者数:80%以上	A	A	B	・わかりやすい授業の実施と学力向上を期待している。 ・家庭学習課題をもっと出してほしい。 ・わかりやすく楽しい授業も多くなる。	○少人数指導を生かしたきめ細かい授業を徹底していく。 ○家庭学習課題を適切に提供し、学習意欲の向上と学習習慣の確立を行う。
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	①朝読書の充実 ①各学年のテーマを設定した探究的な学習を通して思考力・判断力・表現力の向上 ②学校図書館の充実	①朝読書における課題図書の実施:学期に1回 ①探究学習の成果物の作成:学期に1回 ②蔵書数の増加:前年度比10%	B	B	B	・読書好きの子供を育ててほしい。 ・読書を通して、学力向上や豊かな心の醸成を達成してほしい。 ・図書館が新しくなり、興味深い書籍もあり、生徒たちにとって良い環境になっていると感じる。	○課題図書やよむYOMUワークシートを活用し、興味関心を広げ、読解力を高める。 ○図書委員会活動を活性化し、読書への意欲を高める。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上>	①種目ごとの補強運動の徹底 ②授業開始時の持久走の継続実施	①授業内での実施率:100% ②授業内での実施:毎時間	B	C	C	・外で遊ぶことを増やしてほしい。 ・運動会では走る以外の種目も増やしてほしい。 ・体力をつけてほしい。 ・運動部活動を活性化してほしい。	○体力テストの結果を分析し、準備・練習を確実にさせて、テストに臨む。 ○体育の授業時以外に、運動する機会を意図的計画に設定する。
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	①特別支援教育の理解促進及び孤児応じた指導の充実 ②エンカレッジルーム(スタディールーム)の利活用の推進	①校内教育相談委員の実施:毎週保護者向け情報提供による啓発:学期に1回 家庭との連携:随時 ②開室:毎日 利用促進のための家庭との連携:随時	B	A	B	・特別支援教育に関する情報提供が少ない。 ・別室支援が充実して、登校できるようになってよかった。	○保護者会や学校とよりを通じて、情報提供を行う。 ○引き続き、校内別室指導支援員を活用しつつ、学習機会の提供、学習環境の整備を実施する。 ○校内委員会を充実し、生徒理解に努め、個に応じた指導を実践する。
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	①子どもの権利条約の理解及び周知 ②登校できない生徒(不登校生徒)への支援の充実 ③hyper-QUの活用	①人権擁護委員による講演会の実施:1回 端末上のアプリを利用した「朝読書」:学期に1回 ②校内教育相談委員の実施:毎週「どこにもつながらない生徒」:0 ③年間2回実施、分析会2回実施	B	B	B	・生徒の心の成長に力を入れてほしい。 ・相談機関の紹介をお願いしたい。 ・一人一人の生徒の個性を理解して指導してほしい。	○道徳授業を充実させ、生徒の人権意識を高める。 ○校内研修会を実施し、教職員の人権感覚を磨く。 ○二者面談の実施や生徒と共有する時間の増加等により、生徒理解を深める。
	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	①学校ホームページ及び連絡アプリを活用した広報活動の充実 ②学校公開における地域・小学生児童保護者への公開の推進	①ホームページ更新:平均1日1回 連絡アプリ:通知配付が必要に応じて補充 ②学校公開:年間6回実施、部活動見学の実施	A	A	A	・広報活動は充実している。 ・より多くの情報をteturuやホームページから提供してほしい。	○教育活動の様子を引き続き広報していく。 ○ホームページを活用できる人材を育成していく。
地域に広く開かれた学校(園)の表現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	①生徒による授業等アンケート及び保護者アンケートの実施 ②学校評議員会の充実	①各2回実施 すべての質問に対して肯定的評価:80%以上 ②年間3回実施	A	B	A	・昨年度と変わり、開かれた学校になってよかった。 ・多くの行事や保護者参観の機会が増えて、大変ありがたい。 ・評議員と学校との関係性が大変よくなった。	○アンケート結果を生かし、改善点を明確にし、教育活動の充実を推進する。 ○評議員との連携協力を一層活性化し、地域の学校としての機能を充実させる。
	特色ある教育の展開							